

## 10月9日：出来高が縮小する中でVN指数は上昇

VN指数は0.56%高の924ポイントで金曜日の取引を終えた。出来高が大幅に縮小した。

ホーチミン取引所のVN指数は188銘柄が上昇し197銘柄が下落した。出来高は前日に比べて17%減少し6.64兆ドンであった。

先週は出来高が7兆ドンほどと取引が活発な1週間であった。VN指数はコロナ前の水準まで戻った。

コロナ前には、通常の出来高は3-4兆ドンであったが、コロナによって国境を封鎖した直後には2兆ドンを下回ることもあった。

VN30指数は0.54%高、13銘柄が上昇し10銘柄が下落した。

最も上昇したのはマッサングループ(MSN)で6.6%高、サイゴンビール(SAB)が2.7%高でそれに続いた。

ホアンファイグループ(TCH)、ホアファットグループ(HPG)、ビングループ(VIC)もそれぞれ1.9%、1.4%、1.4%高となり相場を押し上げた。

ベティンバンク(CTG)は唯一の上昇した銀行で1.8%高で取引を終えた。

エクシムバンク(EIB)、HDバンク(HDB)、サコムバンク(STB)、テクコムバンク(TCB)、ベトコムバンクなどは変わらずで取引を終えた。

大きく下落したのは、FLCファロス建設(ROS)、ノブランド不動産(NVL)で4.6%、0.6%安となった。

軍隊銀行(MBB)は0.6%安、VPバンク(VPB)は0.2%安、BIDV銀行(BID)は0.1%安となった。

その他の大型株ではFPTグループ(FPT)が0.6%安、モバイルワールド(MWG)は0.5%安となった。

一方、HNX指数は0.96%高、UPCoM指数は0.76%高となった。

外国人投資家は売り越し、VNM、CTG に売りが集まった。

---

### ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。